

企業が成長するうえで、優秀な『人財』の確保は不可欠です。しかしながら、運送業界では人手不足が大きな課題であり、ドライバーをはじめスタッフの確保・育成・定着に向けた取り組みはますます重要になっています。

そこで今回は、求職者から反響のある求人広告の条件について、船井総研ロジ株式会社の河内谷庸高氏に解説してもらいます。



その求人広告、求職者視点に立っていますか？

給与や労働時間など、求人条件は他社と比較しても遜色ないのになぜか自社には応募がこない、という場合は見せ方(魅せ方)を見直す必要があるでしょう。

反響のある求人広告の条件として、まず大前提となるのが「求職者にとってのメリットを訴求できているか」ということです。何を当たり前のことを…と思われるかもしれませんが、意外とこれができている広告

が多いのです。要は、会社の長所を伝えているつもりでも、実際の求職者が本当に知りたいことやメリットと感ずる点がズれている場合があります。

以下に、求人広告作成時に押さえておくべきポイントをあげました。会社視点ではなく求職者視点で、自分が求職者だったらその求人広告を見て、応募したいと思うかどうか、フラットな気持ちで見直してみましょう。

■ 求人広告作成時に押さえておくべきポイント

① 仕事内容、就業体系、雇用条件がわかりやすい

配送形態や勤務時間、荷物内容、走行距離、配送件数などを具体的に記載しましょう。また、単なる仕事内容だけでなく、仕事の魅力も含めて紹介してください。主婦やシニア層を対象にするのであれば、短時間勤務も可能な柔軟な働き方ができることを訴求してもよいでしょう。

② 従業員満足度に関わる項目の掲載

福利厚生や社内行事・イベント、各種教育・研修、免許・資格取得支援制度など、働きやすい環境を整備していることを伝えてください。

③ 安心・安全訴求

ドライバーという職種は危険が伴う仕事とされているため、安全に関する取り組みは非常に重要です。事故防止のための取り組みや導入している安全設備機器の紹介をしてください。

④ 安定性や成長性の訴求

最近の求職者(特に若者)は、安定を求める傾向があります。そこで、業績や仕事量が安定している会社ということを訴求するとよいでしょう。また、成長している会社の場合は、増収実績や計画を記載して、伸びていることを伝えると反響がよくなります。

⑤ 募集職種の絞り込み

一つの求人広告で複数の職種の求人を募集すればするほど、反響率は落ちる傾向にあります。それはターゲットがぼやけるためです。「長距離輸送をしたい人」と「地場配送が希望の人」、「2tトラックに乗りたい人」と「大型ドライバーになりたい人」、は求めているものが違います。できるだけ職種を絞り、細かく分けた方がターゲットに刺ります。

⑥ ターゲットの絞り込み

⑤と同じく、ターゲットによっても訴求すべき内容は変わってきます。経験者と未経験者では企業を選ぶポイントが異なるでしょう。ターゲットを明確にして、絞り込んでください。

⑦ ホームページとの連動

今の時代、紙媒体だけを見て応募する、という人は少数派です。多くの人はどんな会社か、ネット検索してもっと情報収集するでしょう。ホームページを持っている会社はQRコードも掲載して、ホームページへ誘導してください。

⑧ 面接可能日・時間の明記

「土日祝や夜間の面接も受け付けていますので、在職中の方もお気軽にご連絡ください」というような文言を入れると、応募数がアップします。これは「日曜日に面接を受けたいが、会社が休みなのではないか」、「夜遅い時間に応募の電話をすると、迷惑になるのでは」と考えて応募を躊躇している人が一定数います。

⑨ 掲載写真へのこだわり

求職者からすると、貴社へのファーストインプレッションは写真から受ける印象です。それほど写真の影響は強いので、一番こだわってください。楽しそうな笑顔の写真はもちろん、複数掲載できるのであれば、社内イベントの様子や採用責任者の顔写真なども載せてください。

以上が求人広告を作る際に押さえておくべきポイントです。もちろん広告スペースに限りがあるので、すべてを網羅することは難しいかもしれませんが、少しでも多く盛り込み『人財』獲得につなげてください。

河内谷庸高 (かわちや のぶたか)

船井総研ロジ株式会社 物流ビジネスコンサルティング部所属。部長、エグゼクティブ経営コンサルタント。運送会社・物流会社向けにマーケティング戦略の立案から販促・営業企画、新規事業参入等、業績アップコンサルティングに従事。近年はドライバー採用・定着・育成をメインテーマに活動。ホームページを核とした求人方法で、エリアや企業規模に関わらず、今の時代でもドライバー採用に困っていない運送会社を各地で輩出している。物流企業経営研究会「ロジスティクスビジネス経営研究会」を主宰。